

教育方針	Ever Shining － 励まし、支え合い、共に成長し合える 学舎(まなびや)を目指して －	重点目標	I 6年間を見通した一貫教育を進め、高い進路実現を目指します II 幅広い年齢集団での活動を生かして、豊かな人間性を育てます III コミュニケーション能力を高め、生きる力を育みます
------	--	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
I 生徒一人ひとりの進路希望を実現します。	(1) 大学の合格率	国公立大学の合格率70%以上を目指します。 A: 100~70%、B: 69~65%、C: 64~60%、 D: 59~50%、E: 50%未満	C	国公立大学の合格者数は91名で、合格率は61.5%であった。	進路目標と学力に応じた学習指導を行うとともに、早期から適切な進路目標を持たせる指導と情報提供を継続していきたい。
	(2) 難関国公立大学の合格率	東京大学・京都大学等の難関国公立大学及び医学部医学科の合格率15%以上を目指します。 A: 15%以上、B: 14~10%、C: 9~7%、 D: 6~5%、E: 5%未満	B	難関校等の合格者数は15名で10%であった。	少人数学習や習熟度別講座、個別指導により、上位層の育成に力を入れるとともに、進路目標に応じた学習計画を作成させ、適切かつ計画的な学習となるよう指導していきたい。
	(3) 進路意識の向上	「進路意識が向上したか」という生徒・保護者アンケートにおいて肯定的な評価が100%になることを目指します。 A: 100~80%、B: 79~70%、C: 69~60%、 D: 59~50%、E: 50%未満	生徒B 保護者C	生徒の74.1%が肯定的な評価をしている。 保護者の63.1%が肯定的な評価をしている。	6年間を見通した進路指導や、コロナ禍でできなかった体験活動を含む進路研究を進めることで、生徒の進路意識を更に高めていきたい。また、自らの進路を意識して学習に取り組む態度を育成していきたい。
II 6年間を見通した志を育てます。 キャリア教育により	(1) 質の高い授業の実践	「質の高い授業が提供されているか」という生徒・保護者アンケートで肯定的な評価が100%になることを目指します。 A: 100~80%、B: 79~70%、C: 69~60%、 D: 59~50%、E: 50%未満	生徒B 保護者B	生徒の79.3%が肯定的な評価をしている。 保護者の75.5%が肯定的な評価をしている。	ロイロノートの活用やICT機器を活用した授業手法に関する実践と研究を更に深めて、学習の効率化と自学自習の習慣を定着させるとともに、新学習指導要領や新しい入試制度に対応できる授業の構築を目指したい。
	(2) 生徒のスキルアップを促す課題研究	「質の高い課題研究活動が行われているか」という生徒・保護者アンケートで、肯定的な評価が100%になることを目指します。 A: 100~80%、B: 79~70%、C: 69~60%、 D: 59~50%、E: 50%未満	生徒B 保護者C	生徒の71.6%が肯定的な評価をしている。 保護者の61.9%が肯定的な評価をしている。	「総合的な探究の時間」のカリキュラム内容を更に充実させて、課題研究に必要な能力やスキルを育成する学習プログラムを立案、実践していきたい。また、課題研究の成果を保護者に対して積極的に発信していきたい
	(3) 実用英語技能検定(英検)の取組	英検取得の目標を設定し推進します。 ① 前期課程終了時で、3級取得100% A: 100~95%、B: 94~90%、C: 89~80%、 D: 79~70%、E: 70%未満 ② 準2級取得80%以上 A: 80%以上、B: 79~70%、C: 69~60%、 D: 59~50%、E: 50%未満 ③ 2~1級取得40%以上 A: 40%以上、B: 39~35%、C: 34~30%、 D: 29~25%、E: 25%未満	C A A	前期課程修了時点で、3級取得者86.3%となった。 準2級取得者85.7%となった。 2~1級取得者51.4%となった。	3級以上の取得者を増やすためには、英語を苦手とする生徒に対するケアが重要になってくるため、英検に対する生徒の意欲を喚起するとともに、英語4技能のうち、弱点となっている技能の向上が図れるよう、平素の授業や個別指導等で、生徒一人一人に対してきめ細かい指導を行っていきたい。

※ 評価は5段階 (A: 十分な成果があった B: かなりの成果があった C: 一応の成果があった D: あまり成果がなかった E: 成果がなかった) とする。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
Ⅲ 多 間 く 性 の 活 動 の 場 を 育 て 提 供 し 、 豊 か な 人	(1) 学校行事の満足度	「学校行事に対して満足しているか」というアンケートに対して、肯定的な評価が100%になることを目指します。 A: 100~90%、B: 89~80%、C: 79~70%、 D: 69~60%、E: 60%未満	生徒 C	生徒の77.9%が肯定的な評価をしている。	コロナ禍のため、各学校行事について、内容の精選や縮小が3年間続いていることが大きく影響している。コロナ後を見据え、感染防止対策を実施しながら、行事が活性化する工夫を施していきたい。
	(2) 部活動の満足度	「部活動に対して満足しているか」というアンケートに対して、肯定的な評価が100%になることを目指します。 A: 100~90%、B: 89~80%、C: 79~70%、 D: 69~60%、E: 60%未満	生徒 B	生徒の80.4%が肯定的な評価をしている。	
			保護者 C	保護者の75.7%が肯定的な評価をしている。	
(3) 図書館活動の充実	図書館の年間貸出冊数を一人当たり、前期課程12冊以上、後期課程7冊以上とする。 前期 A: 12冊以上、B: 11~10冊、C: 9~8冊、 D: 7~6冊、E: 5冊以下 後期 A: 7冊以上、B: 6冊、C: 5冊、 D: 4冊、E: 3冊以下	前期 C	前期課程は総貸出冊数3768冊となり、一人当たり7.9冊であった。後期課程は総貸出冊数1583冊となり、一人当たり3.5冊であった。	読書活動の啓発が十分でなかったため、読書週間中に行事などを実施し、読書活動の啓発に努め、より読書を身近に感じる指導や『らびらりNEWS』の配布など工夫をし、魅力ある図書館にしていきたい。また、後期課程については、新書など、進路実現に役立つ図書を推奨していきたい。	
後期 D					
Ⅳ 管 基 本 的 な 生 活 習 慣 を 確 立 し 、 自 己	(1) 挨拶と清楚な身だしなみの習慣化	「挨拶や清楚な身だしなみが習慣化しているか」というアンケートに対して、肯定的な評価が100%になることを目指します。 A: 100~90%、B: 89~80%、C: 79~70%、 D: 69~60%、E: 60%未満	生徒 A	生徒の90.3%が肯定的な評価をしている。	良好な状態が続いており、高評価も得ている分野である。引き続き、指導を行っていきたい。特に、交通安全については、交通が混雑する通学路で通学している生徒が多いため、指導を徹底していきたい。
	(2) 社会規範の遵守	「社会のルールをしっかりと守っているか」というアンケートに対して、肯定的な評価が100%になることを目指します。 A: 100~90%、B: 89~80%、C: 79~70%、 D: 69~60%、E: 60%未満	生徒 A	生徒の93.1%が肯定的な評価をしている。	
			保護者 A	保護者の93.0%が肯定的な評価をしている。	
(3) 温かい思いやりの心	「他者に対して思いやりと持って接しているか」というアンケートに対して、肯定的な評価が100%になることを目指します。 A: 100~90%、B: 89~80%、C: 79~70%、 D: 69~60%、E: 60%未満	生徒 B	生徒の88.4%が肯定的な評価をしている。	良好な評価を得ているが、よりよい人間関係を築くことができる力と態度を育てることができるよう、生徒一人一人を見守りながら、必要な指導やアドバイスを行っていきたい。	
保護者 B	保護者の80.9%が肯定的な評価をしている。				
Ⅴ 改 善 務	職場環境満足度	働きやすい職場環境に向けた改善が進んでいると感じる教職員が100%になることを目指す。 A: 100~90%、B: 89~80%、C: 79~70%、 D: 69~60%、E: 60%未満	E	教職員の32.9%が肯定的な評価をしている。また、「どちらでもない」の回答が31.5%となっている。	今年度より4年生が週34単位となり、全学年が6時間授業が木曜のみとなった。放課後の活用に圧迫感があるが、教職員の意見を取り入れながら職場環境の改善に取り組みたい。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。